

人にやさしいロボット研究会

2020年度活動内容

背景・狙い

人の生活に密着した場面で様々なロボットが普及しているなか、今後ロボットに求められる機能やサービスを調査する事で新たなロボットビジネス事業の研究に繋げる。
ロボットと人が共生する社会の創造を目指し
人にやさしいロボットの具現化に向けた提案を行う。

活動内容

ブレインストーミング、有識者へのヒアリング

2020年度の活動

1つ題材を決めて技術的な知見を深掘りする。

テーマ：**遠隔旅行ロボット、テレワーク出勤代行ロボット** ➡ キーワードは**遠隔操作**

どんな技術が使えるそうか。

現在どこまで実現できているか。

表現技術・リアリティの追求

VR技術

映像化
技術

音響技術

認識・判断

認識・AI技術

駆動・制御

入力

センサ技術
(視覚、触覚、嗅覚、味覚、
加速度など)

動作制御技術
(移動、停止)

通信技術

社会システム
(決済基盤など)

インフラ技術

- ・ JTBなどのロボット遠隔操作による「仮想旅行」
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO35472130Y8A910C1X13000/>
- ・ ANA HDの旅行仮想体験
<https://www.sankeibiz.jp/business/news/191017/bsd1910170500005-n1.htm>
- ・ KNT-CT HD
<https://www.kintetsu-re.co.jp/newsrelease/2018/05/VRTravel.pdf>



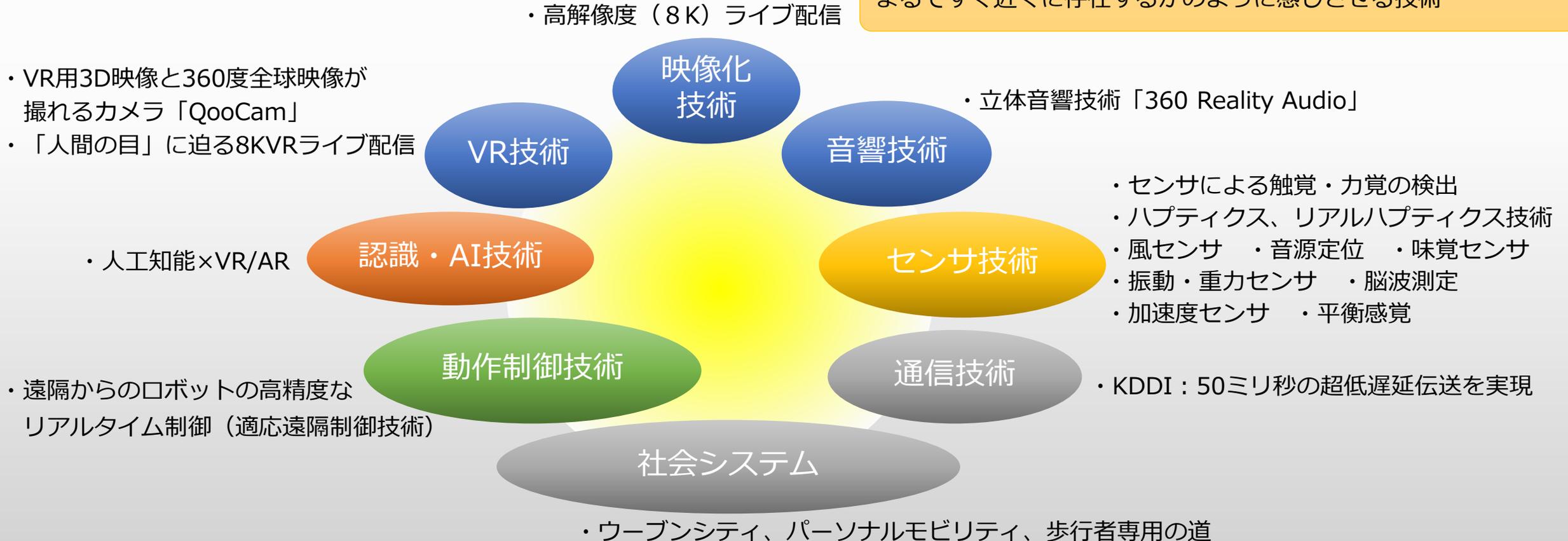
2020年度の活動

テーマ：**遠隔旅行ロボット、テレワーク出勤代行ロボット**

遠隔操作を支える技術の現在地

「テレイグジスタンス」という概念

遠隔存在：英語で「遠隔」を意味する接頭語の「Tel」と、「存在」を意味する「existence」を合わせたワード
ロボットやAR、VR技術を使い、遠く離れた地にある人やモノが、まるですぐ近くに存在するかのよう感じさせる技術



2021年度の計画

- 技術を「体験」、技術に「触れてみる」を企画。
今後発展しそうな技術、何を対象にするかはこれから議論。